



鹿屋市立輝北小学校

1 はじめに

本校は、鹿屋市北西部に位置し、今年で開校9年目を迎える。各学年1学級、児童数111名の学校である。

NIEの実践は4年目となり、これまでの取り組みから幾分かの成果が見られるようになった。掲示してある新聞を読んでいたたり、新聞記事の話題が休み時間に飛び交っていたりする。図書室へよく通う姿もあり、読むことへの抵抗はないように思われる一方で、各種検査では問題文をよく読んでいなかったり、自分の考えをまとめたりすることにはまだ課題が見られる。

今年度は、これまでの取組を継続しつつ、反省を踏まえて指導の重点事項を決めて実践してきた。

2 本校の実践目標

- (1) 新聞に興味を持たせ、社会の出来事に関心を持たせる。
- (2) 新聞を活用し、語彙力を高める。(表現の仕方、熟語の意味調べ)
- (3) 文章を読み取る力を高める。(5W1Hを意識しながら読む。)
- (4) 新聞を通して意見交流をしたり、感想を書いたりすることで、表現力を高める。
- (5) 定期的にファミリーフォーカスを実施し、親子で語り合う場を設定する。

3 本校の具体的な実践内容

- (1) はげみの時間（朝の業間活動）で、各学年に応じた取組を実施する。
- (2) みなみeduを活用し、週末の課題や各教科等の指導に生かす。
- (3) 各教科等での新聞活用を進めるために、実践例を紹介する。
- (4) 講師（新聞記者）を招き、児童への講話や職員研修を実施する。
- (5) 校内に新聞コーナー（作品掲示、新聞の読み比べ等）を設ける。
- (6) 各教科や総合的な学習の時間での新聞活用を進める。
- (7) 学校便り等で、NIEの取組を保護者に知らせ、保護者への協力を求める。

4 実際

(1) はげみの時間での取組

毎週金曜日の朝の業間活動（30分）は「はげみの時間」として学力向上に取り組む時間を設けている。月に1回、「NIEの日」を設定し各学年で実態に合った新聞活用を実践している。



(2) みなみ edu の活用

ホームページからワークシートをダウンロードし、印刷室保管とした。はげみの時間に活用したり、週末の課題で取り組んだりしている。取り組んだワークシートは、全学年ファイリングし、次の学年に引き継げるようにし、6年間の歩み分かるようにしている。各学年数点、NIEコーナーに掲示し、互いに読み合えるようにしている。

また、ワークシートを利用した新聞記事の紹介を朝の会や帰りの会で紹介し、互いの意見交流をしている学年もある。



(3) 実践例の紹介を兼ねた職員研修の実施

NIE の共通理解を図るために年度当初に職員研修を実施した。NIE の始まりやこれまでの3年間の取り組みと他校の活動の紹介、ワークシート等を紹介し、本校の今年度の目標や学年の取り組み内容などを確認した。



(4) 講師を招いての授業

4年生の国語「アップとルーズで伝える」の学習時に、新聞社の方に講師として来ていただき、新聞の特色や写真の効果的な使い方、記事の書き方など丁寧に教えていただいた。実際に新聞記事を見ながら学ぶことができ、その後の新聞記事を書く活動においても学習したことを生かして取り組むことができた。



(5) 校内掲示板の活用

階段横の掲示板上にNIEコーナーを設け、NIEについての説明を掲示し、子どもたちだけでなく保護者への共通理解を図った。また、各学年で取り組んだNIEの作品を掲示した。





各社新聞記事比較



かごしま国体, 東京オリンピックに関する記事



(6) 授業での新聞活用

【1年生】

- ・「子どものうた」に掲載された詩の音読

【4年生】

- ・国語「新聞を作ろう」において新聞の特徴を確かめる学習。
- ・社会「都道府県」の記事から地図帳で場所の確認。

【5年生】

- ・国語の学習において新聞記事を見ながら見出しやレイアウトを確認したり、参考にしたりする。
- ・社会の学習で情報の扱いをする。

【理科】

- ・天気調べ、気象衛星の雲写真を集めて、明日の天気を予想する活動。

(7) 保護者への協力依頼

長期休業中を活用して、4年生以上の保護者に「よむのびコンクール」への参加を依頼した。それぞれの家庭で話し合って新聞記事を選び、感想を書いてもらった。この長期休業中以外でも、週末の課題として、新聞記事を親子で選び、読み合い感想を交流する活動を高学年で行っている。

5 成果と課題

(1) 成果

- ・新聞記事を進んで読み、最近の出来事に興味を抱くようになった。
- ・新聞記事を読み、自分の感想をまとめる力がついてきた。
- ・興味をもった言葉や、記事の中で分からない語句は国語辞典を使って調べることで、語彙が広がった。
- ・取り組んだワークシートはファイルに保存しておくことで、活動の振り返りができた。
- ・各社の新聞記事の1面を見比べることで、写真の撮り方や見出しの違いに気づくことができた。

(2) 課題

- ・NIEコーナーの各社新聞記事が、購読計画により一定期間のみ購読できるため、年間を通して更新できなかった。
- ・家庭で新聞を購入していない所もあるため、家庭学習の取り組みが難しかった。
- ・「はげみの時間」の活動をより一層工夫していく必要がある。